



官庁街通り南側歩道 足元に広がる161点の作品

今年も見事な桜と松のコントラストを見せた官庁街通り。その南側歩道に沿って、(株)NTT東日本前から旧ハローワーク跡地(市立中央病院向かい)までの約600mにわたって161点の石彫板が埋められています。

これは、十和田市文化協会(川崎富康会長)が平成10年に創立40周年を記念して行った「十和田市野外文芸館事業」で、官庁街通りを歩きながら文化や芸術を楽しめるものを、という想いから作られたものです。平成10年から19年の10年間にわたって全国各地から短歌、俳句、川柳の三部門を公募し、入選作品や選者の作品を石彫板として埋設展示という形で残しました。年ごとに「道」「水」「馬」などの共通テーマが設けられ、個性豊かな作品が並んでいます。このように、短歌などが歩道に埋設展示されているのは全国でも初の事例とのことです。石彫板の清掃は、十和田市文化協会が定期的に行っています。

皆さんも、お散歩がてら官庁街通りを訪れ、足元にある芸術を鑑賞してみませんか。



▲市文化協会では、今年4月に石彫板案内図を作成しました。市ホームページでダウンロードできるほか、市観光推進課、現代美術館、アートステーショントワダで配布しています。

十和田市の未来の財産に

わたしは、野外文芸館事業の開始当初から10年間携わってきました。このように形として残り、続けてきてよかったと思います。

自然の中で見る作品は味わい深いものです。ひとつひとつゆっくりと鑑賞して楽しんでいただければ幸いです。この石彫板が、十和田市の未来の財産として受け継がれていければいいですね。



なかさと まりこ
中里 茉莉子 さん

(ペンネーム)

十和田市文化協会副会長
十和田市野外文芸館事業実行委員長(平成17~19年)

人口と世帯 平成25年4月末現在 ※ ()内は前月比

- 人口/64,736人 (+213人) 男/31,022人 (+118人) 女/33,714人 (+95人)
- 世帯数/27,030世帯 (+164世帯)

